

令和4年度 1学期 始業式 講話

令和4年4月8日

【節目】

みなさん、おはようございます。そしてご入学、ご進級おめでとうございます。敷津小学校からきました、校長の原雅史です。これから皆さんと楽しく学び合っていきたいと思しますのでよろしくお願いします。

このあいだ、前の北村校長先生と地域を回っているときに、何人かの児童と出会ったのですが、みんな「北村校長先生こんにちは」「さようなら」とあいさつがきちんとできていたのがすばらしいと思いました。いい学校に来ることができて、校長先生はとてもうれしいです。

さて、今日はこんなものを持ってきました。これは何ですか？

「竹！」

そうですね、竹です。では校長先生は、この竹を使って何をするのでしょうか？すこしまわりの人と聞き合ってみてください。

「かぐやひめのお話し！」いろいろな声が聞こえました。今日はこれを使って「ふしめ」のお話しをします。今日は始業式ですね。2年生だった人は3年生に、3年生だった人は4年生に、大きく階段を1段上がるようなこんな日を「節目の日」と言いますが、この節目は、もともと何の言葉かわかりますか？そう、この竹の節目からきて

る言葉です。

この筋みたいなのが「節目」ですが、なぜ竹には節目がなぜあるのでしょうか。まわりの人と聞き合ってみてください。

こたえはいろいろあるのですが、

① 竹は、真ん中ではなく、節目の下から伸びるのです。これは何ですか？「たけのこ！」そうですね。竹の赤ちゃんです。ここにもたくさん節目があって、この節目の下がすーっと伸びるのです。この節目がないと、竹はまったく成長できないのです。今日のような節目の日があるから、竹と同じように皆さんも大きく伸びるのです。

② 2つ目の理由としまして、竹の強さは節目のおかげなのです。実際どれくらい強いのか、今から実験してみましょう。こちらに竹より太い木の枝を持ってきました。この枝は、少し力を入れますと… ぽきっ！

簡単に折れてしまいました。では、こちらの竹の細枝、笹はどうでしょうか？折れずに、しなるだけです。

木の枝には節目がありませんから、このように簡単に折れてしまいますが、竹は節目のおかげでとても強いのです。

でもなぜ竹はこんなにしなるのでしょうか。竹はの中身はストローみたいになっているのです。これだけだとすぐに折れてしまうので、節目があるおかげで、強いけど、しなやかになっています。

では実際に竹の節目をみてみましょう。このように竹を切ると、中をみることができます。竹の中はどうなっていますか？

竹とたけのこは、校長室前にかざっておきますので、またあとで見に来てください。

2年生～6年生のみなさんは、学年があがり、クラス替えがあったり、担任の先生が替わり嫌だなーと思う人もいるかもしれませんが、今日のような節目の日があるからこそ、人間は強くなり、成長できるのです。

また、この竹のように、節目を大切にしながらまっすぐ成長し、どんな困難にも、つよく、そしてしなやかに、生きていける人になってください。

これで校長先生の話を終わります。